（別記様式第11号）

**アニマルウェルフェアに関するチェックリスト【採卵鶏・肉用鶏】**

記入日　令和　　年　　月　　日　記入者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １　観察・記録 | はい | いいえ |
| ①１日１回以上、飼養環境や健康状態の悪化の兆候がないかを確認していますか。 |  |  |
| ②飼養管理に関する記録を毎日つけていますか（疾病等の発生、繁殖記録等）。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ２　鶏の取り扱い | はい | いいえ |
| ①鶏に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを避け、可能な限り丁寧に取り扱っていますか。 |  |  |
| ②捕鳥の際は、ストレスおよび損傷等を最小限にし、首または翼の先端を持って取り上げないようにしていますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ３　ビークトリミング（実施している場合はお答えください　該当しない　☐） | はい | いいえ |
| ①可能な限り若齢の時に実施していますか。 |  |  |
| ②痛みを最小限に抑え、出血を少なくする方法で、必要最小限の部分のみを取り除いていますか。 |  |  |
| ③実施後は、止血しているか注意深く観察し、必要に応じてビタミン剤を投与する等の処置を行っていますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ４　誘導換羽（休産）（実施している場合はお答えください　該当しない　☐） | はい | いいえ |
| ①綿密な管理の下で健康な鶏に限り実施していますか。 |  |  |
| ②異状（通常よりも死亡率及び淘汰率が高い等）が見られた場合は、誘導換羽を直ちに中止していますか。 |  |  |
| ③24時間以上の絶食は行わず、常に飲水可能としていますか。 | □ | □ |
| ④適切な光線管理を実施していますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ５　給餌・給水方法 | はい | いいえ |
| ①日齢や生産方法等に応じて飼料及び水を毎日過不足なく給与し、適正なボディコンディションの範囲を逸脱しないように管理していますか。 |  |  |
| ②給餌時間は、可能な限り毎日同じ時間としていますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ６　飼料・水の品質の確保 | はい | いいえ |
| ①給餌器や給水の設備は、機器の製造メーカーの推奨する頻度を考慮して、定期的に点検及び清掃を行っていますか。 |  |  |
| ②ネズミ、野鳥等の野生動物の排せつ物等が飼料及び水に混入しないよう対策していますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ７　ケージ方式（該当している場合はお答えください　該当しない　） | はい | いいえ |
| ①　飼料及び水の摂取が可能で、自然な姿勢で移動したり姿勢を正常に調整したりできるような飼養密度ですか。 |  |  |
| ②　ケージを積み重ねて鶏を飼養する場合、上段の鶏の排せつ物が下段の鶏の上に落ちないよう考慮され、全ての鶏が十分に観察でき、必要な時は、ケージから容易に鶏を取り出せるよう配置していますか。 |  |  |
| ③　ケージの開口部は、鶏に損傷を与えずに取り出せる大きさとなっていますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ８　平飼い方式（該当している場合はお答えください　該当しない　） | はい | いいえ |
| ①闘争行動を防止するための飼養空間の拡大、損傷した鶏やつつきをする鶏の分離、照度の低減、飼料形状の調整（細粒化）、付帯設備の提供等を行っていますか。 |  |  |
| ②適切に換気を行うとともに、敷料のこまめな交換等、排せつ物の適正な管理を行っていますか。 |  |  |
| ③敷料の適切な管理により、コクシジウム症、その他の寄生虫病の発生に注意していますか。 |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ９　鶏舎 | はい | いいえ |
| ①野生動物、ネズミ、ハエ等の有害動物の侵入や発生を抑制するよう管理していますか。 |  |  |
| ②鶏舎等は、損傷の原因となるような突起物等がなく、清掃及び消毒が容易な構造ですか。 | □ | □ |
| ③同じ鶏群の全ての鶏に対し、妨げられることなく、同時に休息し、正常な姿勢をとる等のための十分な空間を与えていますか。 | □ | □ |
| ④異常な行動がみられる場合、飼養空間の再設定等の是正措置を講じていますか。 | □ | □ |
| ⑤鶏をよく観察し、極度の高温多湿及び低温を避けるよう、断熱材の利用や換気、飼養密度の調整等を行い、可能な限り適温を維持していますか。 |  |  |
| ⑥鶏舎内で作業を行う飼養者等が、鶏の頭の高さで臭気を不快に感じる状態とならないよう、鶏舎全体に、常に新鮮な空気を供給していますか。 |  |  |
| ⑦光線管理に当たっては、鶏舎内に適切な継続した明期を設け、鶏の正常な行動や飼養者等による適切な管理のため、十分な照度を均等に照射していますか。  （実施している場合はお答えください　該当しない　　） |  |  |
| ⑧光線管理を行う際、照明の変化に徐々に順応するための期間を設けていますか。  （実施している場合はお答えください　該当しない　　） |  |  |
| ⑨鶏のストレスを低減し、概日リズムを促すため、各24時間の間に継続した暗期を適切に設けていますか。  （実施している場合はお答えください　該当しない　　） |  |  |

| 10　農場内における防疫措置等 | はい | いいえ |
| --- | --- | --- |
| ①　家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守するとともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、その実施と定期的な見直しを行っていますか。また、日常から伝染性疾病の発生予防に必要な知識を習得していますか。 |  |  |
| ②　鶏に異状が認められた場合、獣医師等に相談するとともに、家畜伝染病予防法に基づく特定症状が確認された場合、直ちに家畜保健衛生所に通報する体制ができていますか。 |  |  |
| ③　病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除していますか。 |  |  |